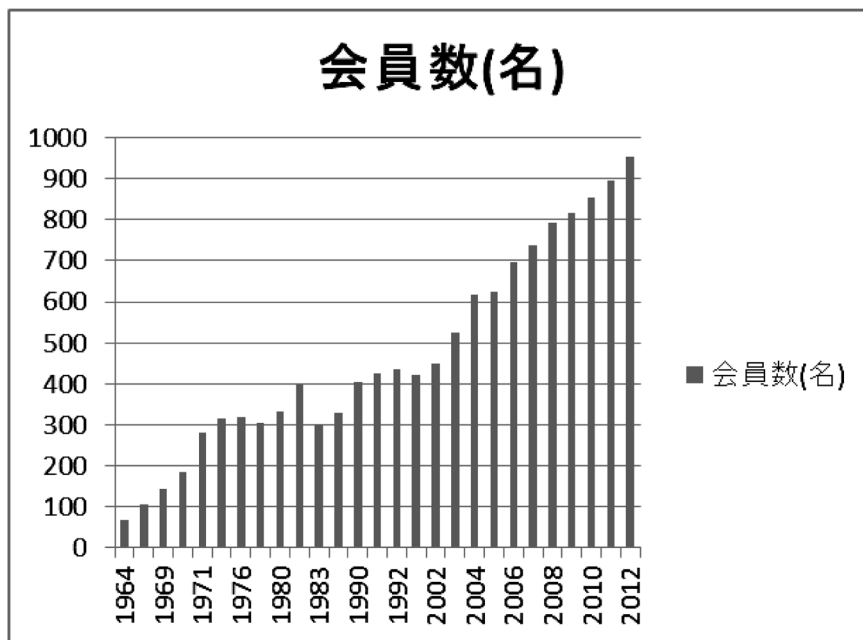


1964年（昭和39年）	
家畜心電図研究会として発足	早川電機（現シャープ）とソニーが初の電卓を発表（3月）
	浜松町駅、羽田駅間でモノレールの運転開始（9月）
	東京オリンピック開催（10月）
1968年（昭和43年）	
「家畜の心電図」創刊	東京大学医学部自治会がストライキ（6月）
	川端康成氏がノーベル文学賞を受賞（10月）
	三億円事件が発生（12月）
1985年（昭和60年）	
獣医循環器研究会に改称	宮崎駿監督『風の谷のナウシカ』が封切り（3月）
日本学術会議に登録	日航ジャンボ機墜落事故（日本航空123便墜落事故）（8月）
	シンボリルドルフが初の四冠を達成（12月）
1992年（平成4年）	
日本獣医循環器学会に改称	東海道新幹線のぞみが運行開始（3月）
	山形新幹線つばさが開業（7月）
	毛利衛氏が日本人初のスペースシャトル搭乗者に（9月）
2001年（平成13年）	
動物循環器認定医制度を発足	小泉純一郎氏内閣総理大臣に就任（4月）
	アメリカ同時多発テロ事件(9.11)（9月）
	IC乗車券Suicaのサービス開始（11月）
2002年（平成14年）	
ホームページ開設	FIFAワールドカップ日本・韓国共同開催（5月）
2004年（平成16年）	
会員管理業務を株式会社国際文献印刷社に移行	オリンピック（アテネ・ギリシャ）開催（8月）
	1万円紙幣発行（11月）
	スマトラ島沖地震発生（12月）

正会員数

学会を構成し同時に支えている正会員数は1964年の研究会発足時に69名であり、2013年現在は950名となっている。本会発足時からの会員動向を次の表で示す。



縦軸は正会員数を，横軸は年号を示している

賛助会員

我が国における動物の循環器学に関する学術の発展と推進に寄与する本学会の目的，および事業に賛同を頂いている現在の賛助会員は，株式会社インターズー，共立製薬株式会社，日立アロカメディカル(株)メディカルシステム営業部，メリアル・ジャパン(株)動物薬開発グループ，フクダエム・イー工業(株)営業本部，ベーリンガーインゲルハイムベトメディカジャパン株式会社である。

なお，曾て本会の事業に賛同を頂いた賛助会員は，日本中央競馬会，アロカ(株)第1営業部，中外製薬株式会社，富士平工業株式会社，深野高正(麻布獣医科大学)，フクダ電子株式会社，(株)日立メディコ特器技術本部，光電メビコ西東京株式会社，メディカル電子機器サービス，日本アップジョン株式会社，日本電気三栄(株)本郷営業所，日本動物愛護協会，日本配合飼料株式会社，日本化薬株式会社，日本メディカル用品販売(株)，日本MSD株式会社，日本ロッシュ株式会社，日本生物科学研究所，日本全薬工業株式会社，サークル産業株式会社，三栄測器株式会社，三共株式会社図書館，(株)スズケン医療機部，(株)スズケン神奈川支店，台糖ファイザー株式会社，テルモ(株)技術開発部，トーイデン工業株式会社，東芝医療用品(株)である。

年会費

学会を運営するために、正会員から年会費を頂いており、その年会費の額は次のように推移している。

年 度	会 費
1964～1968年	200円
1969～1970年	500円
1971～1973年	1,000円
1974～1975年	2,000円
1976～1981年	3,000円
1982～1991年	5,000円
1992～2013年	10,000円

会長

初代から2013年現在までの会長は次のようである。

初代	中村 良一教授	1964年	
2代	野村 晋一教授	1967年	
3代	北 昂教授	1968年	
4代	西川 春雄教授	1970年	
5代	澤崎 坦教授	1972年	
6代	本好 茂一教授	1980年	
7代	戸尾祺明彦教授	1986年	
8代	高橋 貢教授	1988年	
9代	菅野 茂教授	1994年	132ページにインタビューを掲載
10代	若尾 義人教授	1999年	135ページにインタビューを掲載
11代	局 博一教授	2004年	137ページにインタビューを掲載
12代	廣瀬 昶教授	2007年	140ページにインタビューを掲載
13代	小山 秀一教授	2010年から2014年現在	

なお、1970年には幹事長を廃止して、副会長をおくこととしている。

名誉会員

学会活動に功績のあった、2013年度現在の名誉会員は、菅野 茂氏、高橋 貢氏、戸尾祺明彦氏、中田義禮氏、原 崇氏、および本好茂一氏の6名である。なお、動物の循環器25巻（1992年）に記されている名誉会員は天田明男氏、澤崎 坦氏、中村良一氏、西川春雄氏、本好茂一氏、安田純夫氏、戸尾祺明彦氏である。